



## 報道発表

2018年7月12日

### クオリプス株式会社への投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：室田浩司）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業であるクオリプス株式会社（以下、クオリプス）（本社：東京都中央区、代表取締役社長：飯野直子）に対する投資を決定いたしました。

#### ○今回の投資の概要

クオリプスは、大阪大学大学院医学系研究科心臓血管外科学の澤芳樹教授の研究成果を基に設立された再生医療ベンチャーであり、人工多能性幹細胞（iPS 細胞）から作製した心筋シートの実用化に取り組んでいます。現在、重症化した心不全に対する有効な治療法は心臓移植か補助人工心臓装着しかありませんが、iPS 細胞由来心筋シートを患者さんの心臓に移植することで、症状の改善が期待されています。

クオリプスは大阪大学に設置した最先端再生医療学共同研究講座（以下、共同研究講座）を基盤に研究開発を実施しており、昨年 10 月には第一三共株式会社と共同研究開発契約を締結しました。現在は大阪大学主導の治験に必要な iPS 細胞由来心筋シートの製造法の改良と確定に向けた検討を進めています。また、治験用製品供給体制の構築ならびに細胞製造施設に関する構想の具体化に向けた活動を開始しています。

京都大学とクオリプスは今後、iPS 細胞に関する基本特許のライセンス契約を締結する予定です。また、京都大学 iPS 細胞研究所（CiRA）が構築した「iPS 細胞ストック」から、心筋シートの原料となる高品質の iPS 細胞を供給いたします。なお、CiRA は、iPS 細胞由来心筋シートに関して大阪大学と共同研究も実施しています。

京都 iCAP は、難治性疾患である重症心不全の新たな治療技術の開発に挑戦するという社会的意義や京都大学の発明品である iPS 細胞の実用化促進に資する点などを高く評価し、クオリプスが実施する第三者割当増資を第一三共株式会社、テルモ株式会社などと共に引受けることとしました。増資総額約 10 億円のうち KYOTO-iCAP1 号ファンドは 2 億 1000 万円を投資いたします。今後は iPS 細胞由来心筋シートの一日も早い上市とクオリプスの早期上場に向け、他の株主と一致協力して支援を行って参ります。



## クオリプス株式会社 概要

設立 2017年3月  
事業内容 新規心不全治療技術の開発  
本社所在地 東京都中央区  
代表取締役 飯野直子

### ○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学に属する研究者による知（研究成果・技術等を含む）を事業化することを目的とする企業（共同研究企業からのカーブアウトを含む）へ、投資その他の支援を行うことを目的に、2014年12月に国立大学法人京都大学の100%出資子会社として設立されました。当社は、2016年1月に京都大学及び民間金融機関からの出資を受け、当社を無限責任組合員とする160億円のKYOTO-iCAP1号ファンドを組成いたしました。

当社では、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果を基に、その実用化を志向する大学発ベンチャーに対して、期間15年のファンド運用期間を活かして、シード・アーリーステージの段階から長期に亘る支援・出資を行ってまいります。

#### 【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社  
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1  
京都大学国際科学イノベーション棟東館 4 階  
投資部プリンシパル兼広報統括責任者 河野修己  
TEL : 075-753-5303 FAX : 075-753-7592  
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp